



梶田の里

八王子市立梶田中学校

令和6年2月15日

学校だより No.14

【教育目標】○進んで学習する人になろう ○仕事に精を出す人になろう ○心身ともに健康で思いやりのある人になろう

保護者による学校評価のまとめ②

令和5年12月実施

12月にお願いした「学校評価アンケート（保護者向け）」につきまして、御多用の中、御回答いただきありがとうございました。結果は以下の通りです。（自由意見は裏面）

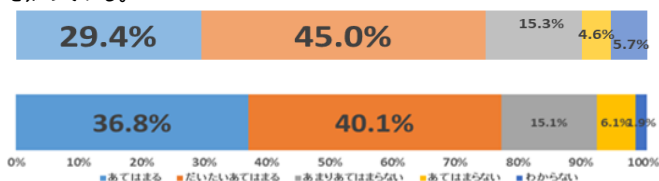
- A そう思う ・ B 大体そう思う ⇒ 肯定的意見
C あまりそう思わない ・ D そう思わない ⇒ 否定的意見 E 分からない



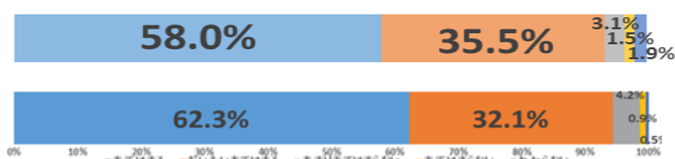
番号	項目	肯定的意見 A+B	否定的意見 C+D	分析 ・ コメント等
1	学校の方針で、教育目標として「進んで学習する人になろう・仕事に精を出す人になろう・心身ともに健康で思いやりのある人になろう」を掲げていることを知っている。	76.9%	21.2%	〈質問番号1〉 今年度は「進んで学習する人になろう」を重点項目とし、評価方法や授業内での効果的なICTの使い方などについての校内研修を行いました。また、長期休業中や定期考査前の補習教室も行いました。 〈質問番号6〉 八王子市では積極的にいじめ問題に取り組んでいます。本校においても生徒との信頼関係を基に、毎週月曜日の「学校いじめ対策委員会」の開催や月に1回のいじめアンケート、個人面談などを通して生徒の声を拾うことを心がけ、早期発見と早期対応に努めております。保護者の皆様もお子さまの様子で何か気がかりなことがありましたら、御遠慮なく担任などにお知らせください。 〈質問番号9〉 1でもお答えした通り、本校では校内研修を通して各教科試行錯誤を重ねながら評価方法の改善を図っています。評価・評定について疑問点がありましたら、御遠慮なく教科担当にお尋ねください。根拠をお示しして御説明いたします。 〈質問番号12〉 「学習環境」はソフト面では指導方法の改善、授業規律の確立、ハード面では備品や設備などがそれにあたると考えます。自由意見の中でもソフト面についての御指摘をいくつかいただいております。改善に努めます。ハード面では学校予算との兼ね合いもありますが、改善できるところは早急に改善に当たります。お気づきの点があれば御指摘ください。
2	学校が、朝読書、体育祭などの行事、部活動などに力を入れ、取り組んでいることを知っている。	94.4%	5.1%	
3	本校が近隣の小学校3校と合同で教員研修をするなど、小中連携に取り組んでいることを知っている。	93.9%	3.8%	
4	学校は子どもが自分の大切さ、他人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている。	93.8%	1.9%	
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	83.0%	8.5%	
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	77.8%	12.8%	
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	84.9%	6.2%	
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	82.1%	7.0%	
9	学習活動に対する評価は適切・公平である。	78.8%	10.8%	
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	88.7%	5.7%	
11	学校が、「はちおうじ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	85.8%	9.9%	
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	75.4%	10.3%	
13	学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	93.4%	5.7%	
14	学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。	88.2%	3.8%	

保護者による学校評価 7月結果（上のグラフ）と12月結果（下のグラフ）の比較

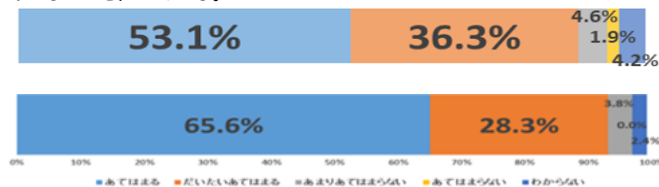
1 学校の方針で、教育目標として「進んで学習する人になろう・仕事に精を出す人になろう・心身ともに健康で思いやりのある人になろう」を掲げていることを知っている。



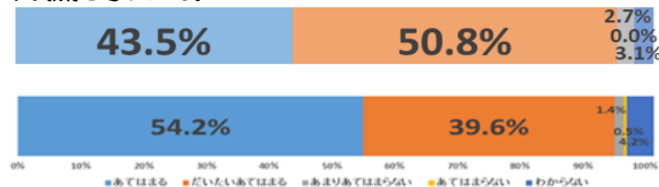
2 学校が、朝読書、体育祭などの行事、部活動などに力を入れ、取り組んでいることを知っている。



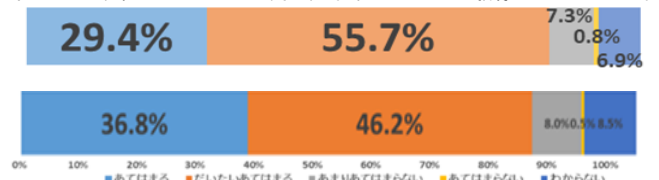
3 本校が近隣の小学校3校と合同で教員研修をするなど、小中連携に取り組んでいることを知っている。



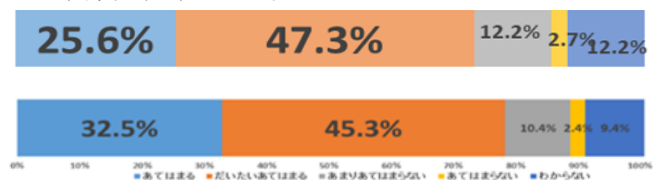
4 学校は子どもが自分の大切さ、他人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている。



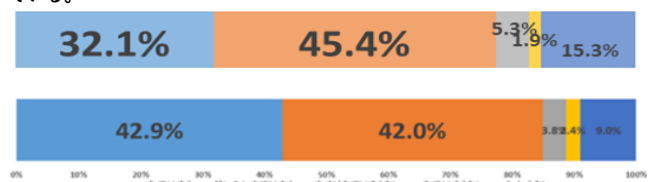
5 学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。



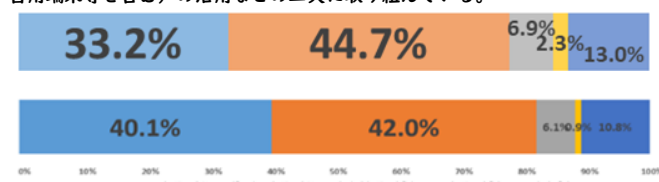
6 学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。



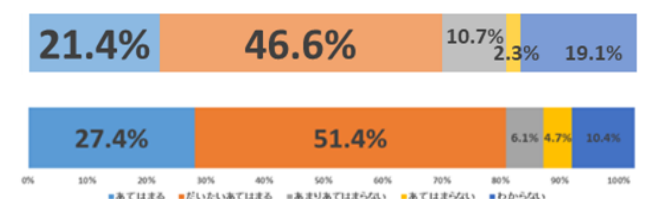
7 子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。



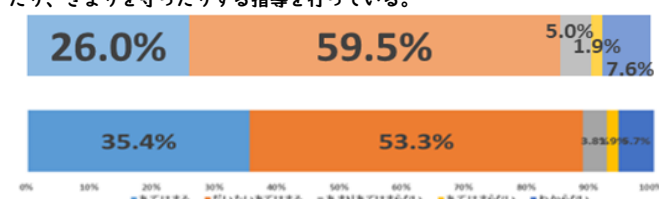
8 学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT 機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。



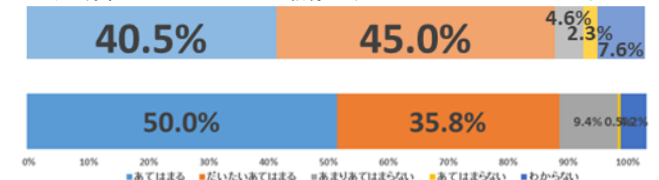
9 学習活動に対する評価は適切・公平である。



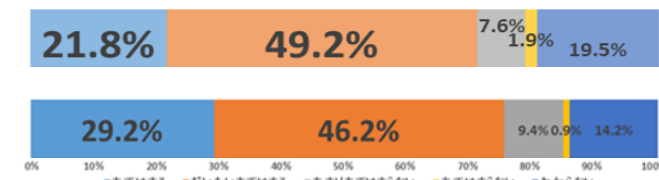
10 学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。



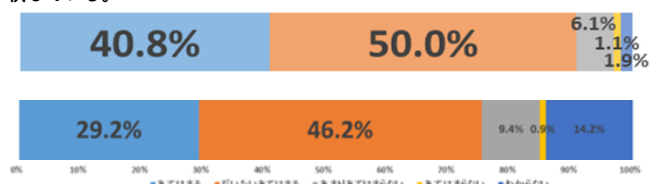
11 学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。



12 学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。



13 学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。



14 学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。

